

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告



第51号 2015年7月25日

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

国民は 安倍政治を許さない！！

世論を無視して安倍政権、自民・公明の与党は、7月15日衆院特別委員会で、安全保障関連法案をとうとう強行採決しました。

前号でくぼたみき議員が報告したように、この法案の廃案を求める意見書が町議会で採択され国に提出されましたが、憲法学者、学者研究者、新劇人、宗教者、労働組合、学生など全国各地で反対の声や運動が広がる中で、戦争につながる憲法違反のものであり、立憲主義、民主主義に反するという指摘にも耳を貸さず、多数で押し通したのです。

これより先に、安倍政権は財界の要求にこたえ消費税を10%にあげ、社会保障制度の改悪を新たな段階にすすめる「骨太の方針」と「新成長戦略」を閣議決定しました。現在も医療・介護・保育等の制度改悪が進められていますが、更に高齢者を公的医療・介護から遠ざける方向です。その一方で、大企業減税は当初の計画加より加速させ、軍事費は「実効性の高い総合的な防衛力を効率に整備する」と強調し、軍需産業の強化や武器輸出に積極的に取り組む姿勢を示しています。

国民生活を犠牲にし、大企業の利益を増やすこの道は、日本経済を衰弱させ、財政再建を困難にするだけです。

新国立競技場の建設問題や、福島、沖縄の問題でも、今やどの分野でも国民不在の安倍政治は、国民のくらしと平和を脅かしています。

この危機的状況から抜け出すには安倍政権の退場しかありません。

憲法違反の法案を廃案にし、国民のための政治を取り戻すまで、声を上げていきましょう

約1674 tのごみが減量

町議会議員 くぼたみき

「ごみ戸別収集」が始まって一年。ご家庭での分別、資源化への協力が大きく実を結び一年間で約1674 tのごみが減量になったと報告がありました。町民の皆さんへは「広報はやま7月号」で報告がありましたが、頑張った結果が目に見えることは、次への励みにもなりますね。

集団資源回収により町内会や自治会への奨励金が支払われていますが、皆さんの協力により集まったお金の使い道も皆で考えることは、地域のつながりを深めることにもつながるのではと思います。

戸別収集が始まったことで、カラス等によるステーションの散らかりはとても少なくなりました。ですが、収集日以外のごみ出しや分別ミスにより収集できずに、ステーションに残されたままで、何日経っても出した方は持ち帰らず、残念ながらごみが残ったままになることもあります。そういったステーションが多い訳ではありませんが、目に余る場所もあり環境課に質問したところ、「何力所か把握している」と言います。「どのくらいの周期かは言えないが酷い時は、収集車で片づけている」と。本来なら、個人のモラルと協力で行っているごみ処理です。イタチゴッコともなり兼ねない方法ではなく、ステーションへ捨てられてしまう前の個別具体的な対策が必要ではないでしょうか。

また、燃やすごみの多くは生ごみ。生ごみ減らすことが更なる減量に繋がります。私は「ベランダでキエーロ」を愛用していますが、最初に使った時、本当に生ごみが消えたこと、臭いが全くなかったこと。感激しました。町では、キエーロ等の普及・稼働率のアップに力を入れています。出来るだけ多くの方が、無理のない範囲でも生ごみ処理が出来るといいですね。

逗子市では27年10月より家庭ごみ処理に関し、有料化となることが決まっています。それぞれ自治体の経済状況等も含めた処理の仕方ではありませんが、葉山町では戸別収集をすることで減量化が進み、処理費の削減に繋がっています。

ごみ処理はどの自治体でも大きな課題です。地域の課題に合わせ、住民と行政とのつながりを密にしていかなければ解決できません。課題解決の一端を担うようアンテナを張っています。